

# 射出成形グレードの切削試作用素材のご紹介

試作に適した「射出成形グレードの切削用素材」を開発いたしましたので、その詳細をまとめた「NIPPOテクニカルレポート」とともに、ご紹介させていただきます。

樹脂部品の試作においても「量産時と同じ射出成形グレードを用いて切削加工を行いたい」という、お客様のニーズにお応えする素材であり、当社独自の熱可塑性樹脂の「厚肉成形技術」の応用によって開発した製品となります。

本素材は、射出成形による切削用素材のウィークポイントであった、素材内部の「ボイド」や「クラック」の発生を抑え、且つ量産時と同じ射出成形グレードを使用していますので、開発段階における「試作検証」や「強度試験」等により適した素材となります。

当社との協業をご希望される材料メーカー様による販売を通じて、お客様の効率的なものづくりに貢献して参ります。

【お問合せ先】

日邦産業株式会社 メカトロニクス本部

Tel : 0587-98-1172



We always try to create the highest value with originality and creativity.

NIPPO テクニカルレポート コンセプト **開発中・量産化**

**熱可塑射出成形樹脂の切削試作用素材ご提案**

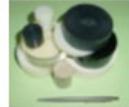
**□はじめに**  
開発初期段階の試作評価において、切削試作は市販の丸棒・板材で対応せざるを得ないことはユーザー様のご不満でありました。しかし、**量産想定**のグレードで丸棒、板を製作するとボイド・クラックが発生し使えないことも以前からの課題でございました。

弊社では独自開発の成形技術により、射出成形グレードを試作用素材に製作することを実現しました。  
これにより、**量産グレード**そのもので切削品が製作可能となり、ユーザー様のお困りごとの解決に寄与できるものと考えております。

**□ユーザー様からのこんなお困り事は御座いませんか？**

- ①量産の射出成形グレードで切削試作したいが市場に丸棒・板材が存在しない。
- ②保有しているテストピースではユーザー様が希望する製品形状が作れない。
- ③ユーザー様が開発初期段階のため試作型起工するほど数量の必要がない。
- ④ユーザー様が特注で丸棒・板材を製作するほど材料費をかけたくない

**□ご提案**  
**材料メーカー様**  
どうしてもテストピースサイズでご満足頂けないユーザー様へお役立ちが可能です。  
※併せて成形可能材料・グレードの拡大や改善のためのバックデータの蓄積とその検証にご協力いただけるパートナー様を募集しております。



※ボイド・クラックの発生は成形による肉厚ボイド、クラックの発生を伴いますがポリマー・フィラーの選定によって十分なクラック発生が抑制されることがあります。必ずしも発生までご検証下さい。また、成形加工の完成までも弊社では対応をさせていただきます。  
現在まで実績のある材料 発熱性PA66、PPS

**□対応可能事例**  
サイズ φ50×15~30、φ75×15~30  
数量 1グレード 1パッチ 30個/LOT

日邦産業株式会社 **メカトロニクス本部** 連絡先：0587-98-1172  
<https://www.njp.co.jp>

詳細はこちらから